

2023年12月1日



公益社団法人
石川県理学療法士会

ニュース
No.157

編集人 山本 拓哉
 発行所 公益社団法人
 石川県理学療法士会事務局
 金沢市戸水1丁目25
 ☎ (076) 254-1431
 発行人 北谷 正浩
 URL http://www.ishikawa-pt.com/



第39回東海北陸理学療法学会大会

士会ニュースの項目

巻頭言：「理学療法の未来への歩み方」	リハビリ&フィットネス寿リハ神宮寺 石田 修也 …	2
会長メッセージ：「Chance と Opportunity ～機会～」	会長 北谷 正浩 …	3
会長行動記録	……………	4
議事録	……………	5
県士会だより：「事務局、学術局、政策企画部、地区活性局、社会事業局業務推進部、 第39回東海北陸理学療法学会のご案内（第6報）」	……………	9
特派員がゆく：「奥能登大震災 被災地で活躍する理学療法士の現状 @珠州市」	……………	19
Active	……………	22
賛助会員名簿	……………	25
編集後記	……………	27

「理学療法の未来への歩み方」

リハビリ&フィットネス寿リハ神宮寺 石田 修也

今年度より石川県理学療法士会理事を拝命いたしました、石田修也です。政策企画部を担当させていただいています。今回は巻頭言という貴重な機会をいただきましたので、私なりの理学療法士という役割、石川県理学療法士会（以下県士会）という役割について少し書かせていただきます。こんな考えの理事がいるんだなあ、変な奴だなあ、面白い奴だなあ、なあって思っただけだとこれ幸いです。



『石川県理学療法士会の力はおそろべし!』。小松市で開催された第39回東海北陸理学療法学術大会に関わらせていただいたの感想です。普段は違う職場で、様々な役割の中で働いている士会員が学術大会のために集い、知恵を絞り、多くの方のためになるものを創り上げてきました。準備期間中はコロナ禍ということもあり様々な不安の中で準備は進められましたが、当日は3年ぶりの対面による開催を実現して仲間が直に出会える場を取り戻すことができました。700名を超える理学療法士が現地に参加できたのは充実した企画のもと、士会員の熱い思いが多くの方へ届いたからであり、改めて県士会の仲間の力はすごいだぞ!と示せたともいえます。

理学療法士というより「リハビリの人」、この認識がひと昔前まで当たり前であったし、今もそう言われることもあるので理学療法士当人がそう感じてるようですが、地域で関わる私の実感としてはここ数年で劇的に変化しています。理学療法士が理学療法士としてちゃんと認識されるようになっていきます。そして、いろいろな方が理学療法士の役割に期待しています。先日の東海北陸学術大会のテーマ「公衆衛生としての理学療法」という意味です。そして、その役割の多くは医療・介護・リハビリテーションという枠組みの外にあります。政策企画部担当理事の立場からすると、それに気づけていない、もしくは十分に理解できていないのは我々理学療法士であったり、施策をつくる地方自治体であったりしているのではないかなと感じています。地域保健、産業分野、ウイメンズヘルス、子育て、障がい者支援、スポーツなどが健康に生活するために理学療法は欠かせないものになろうとしています。そして、その多くは制度として決められたものがあるわけではなく、正解があるわけではなく、今から創り上げていくものがほとんどです。個人的にはやっとここまできたな、ワクワクするな、トライ&エラーでどんどんやっていこうよ!という気持ちです。理学療法士という役割は、関わるすべての人が健康に生活するために運動を通して心身に働きかけ支援すること、それを実現したいです。

理学療法士という役割が多様性を持ち、拡大している今、県士会の役割にも大きな変化が求められていると感じています。当然、ひとりの理学療法士として成長するための研修制度がしっかりと基盤として整備されている必要があります。その上で士会員に提供されるべきは、新たな分野に対する学びと活動の場のチャンスを提供すること、そして仲間をふやしていくことです。前段にお伝えした分野が理学療法士の業となり、生計を立てる手段となるには今は個人レベルで不可能なことがほとんどです。医療機関や一般企業でもなかなか実現するのは困難です。だからこそ、県士会がその学びの場、適切な対価で活動をする場を必ずセットで提供することが必要な役割となっています。県士会は外部と交渉し、資金を獲得し、仕組みをつくり、会員へ還元し、県士会もしくは士会員の自立事業へと転換させるシステムを持たなければならないと考えています。そして、システムと並行して大事なことは仲間をふやすこと、つまり士会員を増やすことです。私自身、地域活動として高齢者支援の分野で士会事業に多く関わっていますが、同志の仲間がいてこそ成り立っているなど日々実感していますし、まだまだ多くの仲間が欲しいと感じています。

最後に、全くの私見ですが、士会員が拠出する「会費」は「投資」と考えています。県士会は士会員にその投資を回収するチャンスを提供するために、投資以上のものを外部から得て士会員に還元する責務があると考えています。そして、士会員は投資を回収するために与えられた機会の平等（士会員としての権利）を行使し積極的に県士会事業に参画していくことが健全な関係性ではないかと考えています。そう考えていただけるような県士会の魅力づくりがもっとも必要だな、理事として果たしたい責務だなと感じている今日この頃です。

最後までお付き合いいただいたみなさん!県士会の力はおそろべきものがあります!その力をもっともっと県民のため、地域住民の健康な生活のために活かしていきましょう!それが理学療法士という役割が楽しいですよ!元気になりますよ!生きがいですよ!になると私は信じています。

「Chance と Opportunity ～機会～」

(公社) 石川県理学療法士会

会長 北谷 正浩

第39回東海北陸理学療法学会は、野口大会長、霜下準備委員長や各理事の皆さんのご協力により無事に開催することができ、誠にありがとうございました。また、ご参加いただいた会員の皆様に感謝です。今後ともよろしく願いたします。

今回の会長メッセージは、ちょっとネットで気になるワードがあったので、視点を変えたメッセージとさせていただきます。

Chance と Opportunity は、日本語訳するとどちらも「機会」という意味になります。

皆さんは「機会」という言葉から、何をイメージしますか？英語は得意ではないのですが、Chance と Opportunity は、同じ意味として使われないようです。

Chance とは、基本的に「偶然、ラッキーに舞い込んだ機会」を意味するようで、皆さんも日常使うことが多いと思います。意図して何かのきっかけを作ったわけではなく、偶然たまたまというイメージを持たれると思います。しかし、「意図していない」、「偶然である」という意味だけに着目してみると、Chance は必ずしも良い意味で使われるとは限らない場合も考えられるようです。

では、Opportunity を説明するならば、「願望を叶えるための機会」となるようです。自分が元々望んでいた展開になるのは、完全に偶然であり、運が良かったのかと言われればそうでもないことが多いはず。

日常の生活においても、少し意識しているのなら、自分の願望が叶う方へ行くのが人間です。ですから、Opportunity は、Chance ほど偶然性や意図していないことを含んでいないということになります。

そのため、Chance の方はまったくの偶然なので、何も「努力することはなく」、ただラッキーと思うのみですが、Opportunity は、自分の願望を叶えるための「努力が必要」な点が異なるようです。

皆さんは、日々の生活の中で、この「機会」をどのように意識していらっしゃるのでしょうか？理学療法士として、将来自分の願望を叶えるため、様々な領域における知識を知る機会を作り、そして患者様や利用者様、関係者と触れ合う機会を作る、それによって学びを得る機会が生まれるという努力をされていますか？このような学びを得る機会、Chance ではなく Opportunity ということになると思います。

新型コロナウイルスにより、我々の生活様式も大きく変わり、様々な機会が皆さんの周辺に溢れています。

今一度、皆さんの生活において、いろいろな機会を Chance ではなく Opportunity として活かしていただきたいと思います。そして、その機会提供のお手伝いを士会活動としていきたいと考えていますので、ご協力の程よろしく願いたします。



会長行動記録（2023年8月1日～2023年10月31日）

行動日	行動内容	会 議 名	場 所	方 法
2023/8/9	[出席]	金沢市介護保険運営協議会	金沢市	対面
2023/8/9	[打合せ]	公益社団法人石川県理学療法士会三役会		WEB
2023/8/9	[出席]	第1回石川県循環器病対策推進協議会		WEB
2023/8/20	[意見交換]	リハ専門職の処遇改善等に係る地方選出国會議員等への3士会訪問（佐々木紀代議士）	小松市	対面
2023/8/21	[出席・挨拶]	公益社団法人石川県理学療法士会「政策企画部研修会」	金沢市	参集
2023/8/22	[打合せ]	公益社団法人福島県理学療法士会「一体的実施事業」		WEB
2023/8/23	[意見交換]	リハ専門職の処遇改善等に係る地方選出国會議員等への3士会訪問（小森たかし代議士）	金沢市	対面
2023/8/26	[出席]	ニューレジリエンスフォーラム in 金沢	金沢市	参集
2023/8/28	[出席]	斉藤会長との私的勉強会		WEB
2023/8/30	[意見交換]	石川県伴走型保険者支援事業説明（千間先生・小西先生）及び珠洲市	珠洲市	対面
2023/8/31	[意見交換]	リハ専門職の処遇改善等に係る地方選出国會議員等への3士会訪問（西田昭二代議士）	七尾市	対面
2023/9/1	[出席]	自民党職能団体懇談会	金沢市	対面
2023/9/5	[出席・挨拶]	七尾市シルバーリハビリ体操指導士養成講座	七尾市	対面
2023/9/10	[挨拶]	臨床実習指導者研修会		WEB
2023/9/11	[打合せ]	公益社団法人日本理学療法士協会「U30-40 プロジェクト」		WEB
2023/9/11	[意見交換]	石川県伴走型保険者支援事業（看護協会）	金沢市	対面
2023/9/11	[打合せ]	石川県 POS 担当者連絡会	金沢市	参集
2023/9/26	[打合せ]	公益社団法人日本理学療法士協会「地域包括ケア推進委員会」		WEB
2023/9/26	[打合せ]	七尾市介護保険事業第9期計画について		WEB
2023/9/27	[出席]	金沢市令和5年度第5回長寿安心プランワーキング	金沢市	参集
2023/9/28	[出席]	石川県医療計画推進委員会第1回在宅医療対策部会		WEB
2023/9/30～10/1	[出席]	東海北陸理学療法学会大会（特別講演司会・災害対策委員会・士会長会議・政策担当者会議）	小松市	参集
2023/10/8	[出席]	公益社団法人日本理学療法士「協会組織運営協議会」		WEB
2023/10/3	[意見交換]	石川県産業保健推進新センター 腰痛予防事業（小山所長）	金沢市	対面
2023/10/3	[挨拶]	東海北陸理学療法学会大会 石川県庁健康福祉部次長	金沢市	対面
2023/10/3	[挨拶]	東海北陸理学療法学会大会お礼 ネクステージ	金沢市	対面
2023/10/3	[打合せ]	七尾市一体的実施事業次年度事業について	七尾市	対面
2023/10/7	[傍聴]	公益社団法人日本理学療法士協会「第7回理事会」		WEB
2023/10/11	[出席]	金沢市介護保険フォーラム	金沢市	参集
2023/10/18	[講師・挨拶]	珠洲市シルバーリハビリ体操指導士養成講座	珠洲市	参集
2023/10/19	[出席]	公益社団法人石川県理学療法士会「第5回理事会」		WEB
2023/10/20	[出席]	専門学校金沢リハビリテーションアカデミー教育課程編成委員会		WEB
2023/10/21	[講師・挨拶]	公益社団法人石川県理学療法士会集団理学療法研修会	金沢市	参集
2023/10/22	[出席・挨拶]	石川県 POS 連絡会研修会	金沢市	対面
2023/10/23	[出席]	公益社団法人日本理学療法士協会「貴会の組織運営に係る意見交換会」		WEB
2023/10/24	[出席]	公益社団法人日本理学療法士協会「全国職能関連担当者会議」		WEB
2023/10/25	[打合せ]	石川県伴走型保険者支援事業		WEB
2023/10/31	[出席]	令和5年度第6回長寿安心プランワーキング	金沢市	参集



厚生省、身体障害者福祉法、労働省指定
(社)日本義肢協会会員 登録・中部115号

(株)金沢義肢製作所

〒920-0935

金沢市石引1丁目11の6

TEL (076) 231-3328

FAX (076) 262-0930



SAISEIKAN Co.LTD.,
Prosthetist & Orthotist

(株) 濟世館

会 社 金沢市三口新町2-2-25

TEL 076 (231) 7284

FAX 076 (231) 6708

理事会議事録

令和5年度 第5回 公益社団法人石川県理学療法士会 理事会議事録

1. 開催日時 令和5年10月19日(木)
19:00～21:00
2. 開催場所 Zoom オンライン
3. 出席者 理事 北谷正浩、諏訪勝志、狩山信生、丸居夕利佳、木村創史、成宮久詞、濱野久美子、平木清喜、森健太郎、霜下和也、小堺武士、西田好克、土山裕之、山本拓哉、石田修也
(15名/15名)
監事 後藤伸介、宮森俊充
書記 宮地諒
4. 欠席者 理事
監事
5. 議長の選任
理事総数の半数以上の出席をみたので、議長に諏訪勝志を互選にて選出した。
6. 議事録署名人の選任
定款第31条の規定により、次の者が選出された。
会長 北谷正浩
理事 諏訪勝志、狩山信生
監事 後藤伸介、宮森俊充
7. 議案及び議事の顛末
第1号議案 県知事賞候補者の推薦について
丸居理事より、令和6年度の県知事賞候補者について、選定の経緯も含めて説明と提案がなされた。

審議の結果、山崎氏(市立輪島病院)、池田氏(金沢医科大学病院)を含めた3名を推薦することとなった。上記2名以外の1名については、今年度の候補者として提案された田中氏(高岡ふしき病院)が現在富山県理学療法士会に在籍していることを鑑み、その枠に次年度候補者であった松崎氏(金沢大学)

を推薦することとなった。また、表彰規程において、推薦対象者を石川県理学療法士会に在籍している会員に限定するののかについては継続審議することとなった。

第2号議案 令和5年5月奥能登地震被災者へのお見舞いに関して

丸居理事より、令和5年の奥能登地震被災者への見舞金の対象者および金額について提案された。

審議の結果、提案された見舞金対象者(自宅家屋以外の被災に対しては、見舞金の対象外とする)および金額(一律1万円)について承認した。また、今後新たに申請があった際には申請があった段階で理事会にて判断することとなった。

第3号議案 医療機関の地域貢献事業支援と士会人材確保の両立策についての提案

石田理事より、医療機関の地域貢献事業支援、石川県理学療法士会の人材確保に関する現状の説明およびそれに関する課題について説明がなされた。

協議の結果、本議案については石川県リハビリテーションセンターや他職種団体との連携、医療機関スタッフの意見聴取等も含め、継続審議とすることとなった。

第4号議案 ビジョン検討ミーティングの今年度のすすめかたについて

霜下理事より、ビジョン検討ミーティングについての進行プロセス等について提案がなされた。その中で、全理事にSWOT分析、KPI(重要業績評価指標)に関する意見の提出依頼がなされた。

審議の結果、提案されたビジョン検討ミーティングの進行プロセス等について一部修正を行った上で承認した。主な修正は、令和5年12月21日に意見交換内容やビジョン骨子について取りまとめを行うこと、令和6年1

月の理事会で次年度事業計画との整合性を図ることの2点である。

第5号議案 会員異動（令和5年7月2日～令和5年10月1日）

小堺理事より、会員異動の説明があった。
入会17名、復会3名、県内異動18名、県外異動7名（転入6名、転出1名）、改姓6名、退会申請11名
（9月末現在 正会員1194名、休会181名、名誉会員2名、賛助会員35社）

審議の結果、承認した。

8. 報告事項

1) 事業報告

<社会事業局>

スポーツ障害予防事業部（成宮）

1. 高校野球サポート事業

第105回全国高等学校野球選手権石川大会（7/15～7/27）

対象者数：延べ94名

参加会員数：34名

- ・石川県高等学校野球連盟に今年度の熱中症発生に関する報告書を提出し、それをもとに今後の大会の日程を石川県高等学校野球連盟と検討していく。
- ・トレーナー養成について、依頼に対してどのように関わるのかを検討中。

2. アスリート相談事業（8/23～9/27）

対象者：2名

参加会員数：1名

3. 障がい者スポーツ（9/18、9/24）

会場：いしかわ福祉水泳協会、ダウン症親子水泳教室

参加会員数：1名

4. 石川県高等学校野球連盟主催 野球教室（11/12）

対象：小学校高学年

保護者、指導者向けに、投球障害予防に関する講習会を行う。

5. スポーツ障害予防事業研修会

スポーツ障害予防事業研修会を令和6年

2～3月頃に企画予定。

介護予防健康増進事業部（平木）

1. 理学療法ハンドブックの配布活動

第44回健康づくりフェアなどの企画にて理学療法ハンドブックの配布活動を実施（9月2回、10月2回、計576部配布）。

2. 第20回石川県糖尿病ウォークラリー大会の運営協力（10/15）

会場：物見山総合体育館

理学療法士協力者数：11名

3. 介護予防・健康増進・生活習慣病予防支援に関する会員の派遣等

①令和5年度糖尿病対策推進に関する情報交換会（9/16）

依頼元：日本糖尿病理学療法学会、糖尿病対策推進部会

平木 清喜 氏（県リハセンター）

片田 圭一 氏（県立中央病院）

②令和5年度特定健診・特定保健指導従事者研修会（初任者研修）（9/28）

依頼元：石川県健康福祉部健康推進課

木村 幸恵 氏（みたに通所リハビリテーション）

③令和5年度壮年部セミナー（11/24）

依頼元：石川県職員労働組合

会場：和倉温泉「のと楽」

対象：50歳以上の県職員（最大80名程度）

大崎 志帆 氏（介護医療院 恵寿鳩ヶ丘）

本報告に関して労働組合のセミナーへの講師派遣を行うこととなっているが、民間企業等についても依頼があれば対応するのか明確にしておく必要があると後藤監事より意見があった。

4. いしかわ介護フェスタの運営協力（11/4）

会場：県産業展示館3号館

5. 第59回石川県民糖尿病フォーラム（金沢・能登）への参加協力（11/19）

会場：ホテル金沢（4階 エメラルド）

業務推進部（濱野）

1. シルバーリハビリ体操普及啓発事業

① 3級指導士養成講習会

日程：志賀町 5/17～6/1、能登町 6/2～6/23、中能登町 6/16～7/15、七尾市 9/5～9/26、珠洲市 10/18～11/8

修了者数：志賀町 10名、能登町 21名、中能登町 5名、七尾市 19名
参加会員数：志賀町 7名、能登町 9名、中能登町 9名、七尾市 9名

② フォローアップ研修

日程：中能登町 9/14、七尾市 7/31、珠洲市 10/27

参加者数：中能登町 26名、七尾市 23名
参加会員数：中能登町 2名、七尾市 3名

③ 定期勉強会支援（珠洲市）（7/24）参加者数 11名、参加会員数 2名

④ 通いの場指導支援（珠洲市）（9/15）参加者数 2名、参加会員数 1名

⑤ 講習会周知活動（珠洲市）（9/29）参加者数 33名、参加会員数 1名

⑥ 全国シルリハ指導士交流会支援（7/7）参加会員数：7名

⑦ 認定講師講習会（8/4、5）

会場：ケアハウス海青

修了者数：8名

参加会員数：7名

⑧ 集団理学療法研修会（10/21）

会場：金沢リハビリテーションアカデミー

2. 職能発展事業

① 腰痛予防事業（産業保健分野）

会員にむけて実態把握調査を実施予定

② 男女共同参画およびワークライフバランスに関する取り組み

11/14に東海北陸ブロック会議を開催予定

③ 保険外分野

県内会員の情報収集を予定

3. 調査事業

腰痛予防事業の調査に協力予定

4. 共催事業

① 理学療法週間事業（加賀ブロック）（10/1）

東海北陸理学療法学会にて理学療法キッズフェア開催

参加会員数：18名

② 推進リーダー研修（能登ブロック）

（2024/1/28）

5. 珠洲市伴走型保険者支援事業

9月より事業開始

個別訪問支援として3件訪問対応を実施
12/3に県内シルリハ指導士の交流会を開催あ

<学術局>

生涯学習推進部（森）

1. 石川県理学療法士会学術局主催研修会

① エコーを活用した膝内側部・外側部の診断と治療～エコーライブデモでの診察、画像読影の実技あり～（9/14）

参加会員数：74名（県内37名、県外37名）

② 大畑先生（オンライン）（10/26）

③ 高橋先生（オンライン）（11/30）

④ 建内先生（オンライン）（12/14）

⑤ 石川県理学療法士会内講師による研修会を企画（運動器座学オンライン+実技）年明けに開催予定。

2. 県士会主催症例検討会

1日にまとめる形で2月もしくは3月の週末：内部2、3例、神経2、3例、運動器2、3例を予定

研究部（土山）

1. 第32回石川県理学療法学会（令和6年度末）の開催案を準備委員会で検討する。

<地区活性局>（霜下）

1. 福祉のつどい金沢2023運営協力（石川中央ブロック）（9/4）

会場：金沢市松ヶ枝福祉館・松ヶ枝緑地
対象者数：51名

参加会員数：4名

2. 第44回健康づくりフェア（9/23～24） 17人、学生84人
 会場：金沢健康プラザ大手町東館・西館
 対象者数：96名
 参加会員数：16名+学生3名
 公開講座・PT 週間事業：一般参加者約
 250人が参加
 石川県理学療法士会：参加登録347人、
 運営スタッフ100人
3. はだしの王国奥卯辰2023（石川中央ブ
 ロック（10/9）
 対象者数：70名
 参加会員数：4名+学生2名
 東海北陸理学療法学会の引継ぎ
 (11/6)、振り返り会議(11/25)を実施予定。
4. 事業協力意向調査（県士会ネットワーク
 強化事業）
 7月～8月末にかけて Google フォーム
 にて実施。26名が入力。

<事務局>

政策企画部（石田）

1. 政策懇談会（特別研修）「トリプル改定で
 変わる現場 今知ることの意義」（8/21）
 参加者数：会員（現地15名、オンライン
 25名）、OT2名、ST1名
2. 政策提言（三士会による地元選出国会議
 員への訪問）（8/20、23、31）
 北谷会長、土山理事、石田理事、浅川氏
 が訪問
3. 自民党支部への要望書作成案の提出
4. 政策立案担当者会議（東海北陸ブロック
 政策立案担当者会議）（9/30）
 参加会員 北谷会長、石田理事

総務部（小堺）

1. 令和5年度下半期の財務対応スケジュール
2. 謝金振込依頼書のフォーマット更新
3. 感染対策備品残数
4. 部員名簿の提出（10月末締め切り）

<東海北陸理学療法学会準備委員会>

（霜下）

1. 東海北陸理学療法学会
 参加者数（有料参加者）：2563名（会員対
 面参加705人、会
 員オンデマンド
 1757人、非会員

<臨床実習指導者養成特別委員会>（土山）

1. 臨床実習指導者講習会
 受講者数：48名（9/9、10）、42名（11/11、
 12）
2. 講習会世話人の養成
 3名を養成（11月には追加で2名）
3. アドバンスセミナーの開催 2回予定（12
 月、2月）

- 2) 文書動向（小堺）（令和5年7月/2日～令和
 5年10月1日）

事務局より以下の報告がされた。

文書受理発送	受理文書	公文書	41件
		その他	69件
	発行文書	公文書	38件
		その他	38件

- 3) 会長行動報告

8/1～七尾市高齢者の保健事業と介護予防事
 業の一体的実施事業が開始

8/20 佐々木紀代議士訪問 意見交換

8/23 小森たかし代議士訪問 意見交換

8/30 西田代議士訪問 意見交換

9月～珠洲市伴走型支援事業

9/11 公益社団法人日本理学療法協会U30-40
 プロジェクト 打合せ

等

計72件

理事会

日時：令和5年12月21日（木）19時から

場所：オンライン

県士会だより

＜事務局からのお知らせ＞

～ 士会員のみなさまへ～

年会費請求の手続きや士会郵送物等に影響がある場合がございます。マイページ登録内容のご確認及び随時更新のご協力をお願いいたします。

※以下、日本理学療法士協会 HP 内の例年の年会費情報を元に表記しております

＜重要①＞ 次年度年会費納入について

【納入期限】

前年度 3 月 31 日

【上記期限日までに納入が確認できなかった場合】

会員資格の喪失により、退会の手続きをさせていただきますことがあります

【ご確認のお願い】

振替指定口座の残高、マイページ「郵送物送付先」、金融機関営業日等

★詳細：協会 HP [理学療法士向けサイト] MENU → [協会からのお知らせ] → [各種手続き] → [一覧／年会費]

＜重要②＞ 次年度異動・休会・退会等の申請手続きについて

【お願い】 随時受け付けますが、その申請内容が、次年度 4 月 1 日からの登録情報に反映されますので、前年度 2 月 20 日までにお手続きをお済ませ下さい

★詳細：協会 HP [理学療法士向けサイト] MENU → [協会からのお知らせ] → [各種手続き] → [一覧／各申請等項目]

＜お問い合わせ＞

公益社団法人 石川県理学療法士会 事務局
〒920-8204 石川県金沢市戸水1丁目25
TEL：076-254-1431
FAX：076-254-1432
Mail：info@ishikawa-pt.com

～ 学術局からのお知らせ～

県士会「承認」事例検討会・研修会の開催要件のご案内

昨年より新生涯学習制度が開始されており、貴施設でも導入を苦勞されているかと思ひます。下記に開催要件を記載いたしますので、ご確認の上、多くの開催を期待しております。

★県士会「承認」事例検討会

〈開催要件〉以下すべての要件を満たすこと

- (1) 申請者（座長）は登録理学療法士（休会者や会員権利停止者は対象外）であること。
- (2) 1 症例の発表（質疑応答を含む）時間は、可能な限り推奨時間（30 分以上）で開催。
- (3) 必ず選択する講義テーマ（後期研修 E1～E3）に応じた内容で開催すること。
- (4) 症例ごとに発表者、聴講者の履修管理ができること。
- (5) 履修コマ数は「1 回の発表で 1 コマ」「1 回の聴講で 1 / 3 コマ（3 回の聴講で 1 コマ）」とすること。
- (6) 参加費を徴収しない（無料で開催する）こと。
- (7) 入退室管理が行えること。
- (8) 質疑応答等を設け、講師と参加者の双方向の疎通を可能とすること。
- (9) 迅速かつ正確な履修登録のため、読み取りが可能な対象者へは QR コード受付を推奨します。

（QR コードの読み取りは、会員マイページ専用アプリの事前ダウンロードが必要です）

*注意事項として、当日時間内に参加受付行うこと、参加登録は 1 回のみで修正不可

〈開催申請について〉

- (1) 申請者〔座長〕は自身のマイページから申請を行います。座長のみ申請が可能であり、マイページ以外からの申請はできません。
- (2) 申請は「事前申請」に限ります。石川県理学療法士会では、申請期日は研修会開催の 2 週間前までといたします。マイページ上から申請期日を超過して申請された場合は、否認とさせていただきます。予めご確認の上ご申請ください。
- (3) 開催日が近づいても申請中（承認も否認もされていない）の場合は、必ず時間に余裕をもって、本会にお問い合わせください。
- (4) 1 申請で複数の症例検討会を同時申請はできません。1 開催ごとに申請してください。
- (5) 申請の「承認」「否認」を問わず、必ず通知メールが座長に届きます。
また、マイページからも申請の承認状況（申請中、承認、否認）が確認できます。

協会マニュアル➡



★県士会「承認」研修会

〈開催要件〉以下すべての要件を満たすこと

- (1) 申請者は登録理学療法士であること。
 - (2) 講師が1名以上いること。
 - (3) 講義時間は30分以上とすること。上限は定めない。
- ※講義時間とは休憩を含まない実質の研修時間を指す。
- (4) 学術大会（学術集会）や症例検討会ではないこと、学会主催や共催ではないこと。
 - (5) 営利を目的とした研修会ではないこと。（※ただし、資料代等の徴収は可）
 - (6) 参加者の入退室管理が行えること。
 - (7) 質疑応答等を設け、講師と参加者の双方向の疎通を可能とすること。
 - (8) 企画内容に最も即したカリキュラムコードを1つ選択し設定すること。
 - (9) WEBシステム等を利用したオンライン開催も主催者の判断により可能とするが、以下の要件を満たすこと。
 - 1) 参加者の管理ができること。
 - 2) 双方向により質疑応答等の疎通が可能であること。ただし、開催当日に限らない。
 - (10) 研修終了後（開催日より2週間後まで）、研修会資料を下記メールアドレスに添付してお送り下さい。
E-mail（学術局宛） ishikawaptag@gmail.com

〈開催申請について〉

- (1) 申請者〔登録理学療法士〕は自身のマイページから申請を行います。登録理学療法士のみ申請が可能であり、マイページ以外からの申請はできません。
- (2) 申請は「事前申請」に限ります。石川県理学療法士会では、申請期日は研修会開催2週間前までといたします。マイページ上から申請期日を超過して申請された場合は、否認とさせていただきます。予めご確認の上、ご申請ください。
- (3) 1申請で複数開催分を同時申請はできません。1開催ごとに申請してください。
- (4) 申請の「承認」「否認」を問わず、必ず通知メールが申請者に届きます。また、マイページからも申請状況（承認待ち、承認、否認）が確認できます。

協会マニュアル➡



★今年度 12 月以降の予定★

★県士会主催研修会

日 時	テ ー マ	講 師
令和 5 年12月14日 (木) 19:00～21:00	詳細決定次第、お知らせします	建内宏重先生 (京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系専攻 特定准教授)

○「登録・認定・専門理学療法士の更新ポイント及び点数取得」に該当します。

★県士会主催事例検討会

昨年度の県士会主催事例検討会は、E1 神経系理学療法学、E2 運動器系理学療法学、E3 内部障害系理学療法学のテーマごとに開催日を分け事例検討を実施しておりました。しかし、今年度は E1 神経系理学療法学、E2 運動器系理学療法学、E3 内部障害系理学療法学それぞれ 2 例、計 6 例を 1 日にまとめた開催を予定しております。

日 時	テ ー マ
令和 6 年 1 月 or 2 月 半日で実施予定	後期研修領域別研修 E1 神経系理学療法学 (2 例) E2 運動器系理学療法学 (2 例) E3 内部障害系理学療法学 (2 例)
	詳細決定次第、お知らせします

○登録理学療法士取得のための、「後期研修の履修」に該当します。

○多くの事例を通した学びの機会となりますので皆様奮ってご参加ください。

○学術局では事例発表者の募集を行っております。登録理学療法士取得のための後期研修の履修がまだの方、履修がお済みの方、県士会会員であればどなたでもご応募可能となっております。

なお、県士会主催の事例検討会は、どなたでも参加できますので、学びと交流の機会としてぜひご利用ください。

各回の詳細や申し込み方法は、メルマガ・LINE・県士会ホームページなどで随時ご案内致します。

【お問い合わせ先】

石川県理学療法士会学術局生涯学習推進部

E-mail : ishikawaptag@gmail.com

～政策企画部からのお知らせ～

「政策懇談会（特別研修）トリプル改定で変わる現場 今知ることの意義」

政策企画部
理事 石田 修也



8月21日に武蔵ITプラザ（Zoom同時配信）にて開催されました。約50名のリハ関連職の参加者がありました。

田中昌史先生（参議院議員・理学療法士）より国会議員になってからの取り組み、今後のトリプル改定、リハ職の処遇改善について概要や政策決定の流れについて情報提供をいただき、参加者からの質問にお応えいただきました。なかなか知ることのできない政策の立案やそれに関わる人とのつながり、そのために必要なリハ職の行動について新たな見地を得た参加者が多くいました。



2. リハ関連3士会による地元選出国會議員への訪問

リハ関連3職種の日本協会より合同で厚生労働省に提出した要望書の概要を地元選出議員である石川2区 佐々木議員（8月20日）石川1区 小森議員（8月23日）石川3区 西田議員（8月31日）にリハ関連3士会合同で報告を行いました。また、県3士会の代表者より各職種の現状や県内での要望についてもお伝えしました。PT士会からは、地域リハ支援体制の再整備、医療・介護以外の分野での理学療法士の活用を県にイニシアチブをとっていただくことや産業界とのつなぎなどの要望を自民党職域支部より県に要望書として作成し提出していることや今、現場で起きている様々な課題について情報提供を行いました。各議員からは多くのアドバイスと今後の方向性についての協力の言葉をいただくことができました。



～地区活性局、社会事業局業務推進部からのお知らせ～

地域リハビリテーション活動実践研修のご案内

地域リハビリテーションに興味がある方や、既に事業に参加しているけどこれで良いのか悩んでいる方に向けた研修会のご案内です。自信をもって事業に参加できるよう、この機会に学んでみませんか。また、病院勤務の方にとっても、患者さんの退院後の生活を考える練習や、患者さんの意欲を引き出す話し方を学ぶことができるので、日頃の業務に役立つ内容になっています。ぜひお気軽にご参加ください。

なお、本研修は「地域ケア会議」「介護予防」に関わる事ができる人材育成を目的とした、地域包括ケアに関する推進リーダー導入研修に該当します。推進リーダーを取得予定の方は、研修前にeラーニングの受講修了が必要になります。詳しくは本案内の【推進リーダー取得要件】をご確認ください。

【地域ケア会議推進リーダー導入研修会】

日 時：令和6年1月28日（日）9時00分～12時00分

内 容：① 県内での取り組み紹介

- 1) 羽咋市 羽咋診療所 小林 順子 氏
- 2) 小松市 丸内・芦城高齢者総合相談センター 山崎 晋平 氏

② グループワーク

- 1) 模擬地域ケア会議
- 2) 地域ケア会議で活かしたい理学療法士の強み

【介護予防推進リーダー導入研修会】

日 時：令和6年1月28日（日）13時00分～16時00分

内 容：① 講義

「困っていませんか？介護予防教室や入院患者さんに興味を持って話を聞いてもらう方法を伝授！」

～ 行動が変わる！？意欲を引き出す伝え方！ ～

志賀町地域包括支援センター 北谷 正浩 氏

② グループワーク

介護予防の講座資料作成

講義でご紹介する資料（令和4年度に開催した、住民主体の「通いの場」活動支援人材育成研修の資料「どう伝える？フレイル予防の基礎知識」）を活用して、地域住民に内容が伝わる工夫を考えながら、介護予防教室等で実際に使用できる資料の作成や、話し方について検討します。

【その他要綱】

開催方法：オンライン開催（Zoomを使用予定）

参加費：無料

申込方法：次の URL または QR コードより、お申込みください

<https://forms.gle/LFxDBAfGSm5gpcbU6>

申込締切：令和6年1月21日（日）



【推進リーダーの取得要件】

令和4年4月以降、登録申請対象者が「新人教育プログラム修了者」から「登録理学療法士取得」へ変更となりました。① eラーニングの履修、②士会指定事業参加、③導入研修（本研修会）の履修が必要となります。

【注意！！】

導入研修を受講するためには、eラーニングを前日までに受講修了していることが必要になります。順序が逆の場合は、導入研修の履修は反映されないため、再度、導入研修の受講が必要となりますので、ご注意ください。

詳細は、協会ホームページをご参照ください。（会員限定コンテンツ＞職能事業＞協会指定職能研修会＞地域包括ケアシステムに関する推進リーダー制度）



* 士会指定事業及び報告方法について

士会指定事業には、石川県理学療法士会が実施する各種事業や研修会等の企画・運営・参加等が該当します。県士会ホームページ「会員皆様へ➡社会事業局より➡申し込みフォーム」よりお申し込みください。

【問い合わせ先】

本研修会について

地区活性局加賀ブロック部 担当：小曾宇谷
Email：noto@ishikawa-pt.com

推進リーダーの履修について

社会事業局 業務推進部
Email：info@ishikawa-pt.com

◇ 集団理学療法研修会を開催して ◇

社会事業局業務推進部 濱野 久美子

昨年度から社会事業局業務推進部ではシルバーリハビリ体操普及推進事業として、「集団理学療法研修会」を開催しております。今回、研修会の様子を会員の皆さんに報告させていただきますので、是非ご覧ください。

【研修内容について】

日 時：令和5年10月21日（土） 9時00分～18時30分

場 所：専門学校金沢リハビリテーションアカデミー

参加者：11名（県内9名・県外2名）

講 師：公益社団法人石川県理学療法士会 北谷会長、諏訪副会長、石田理事

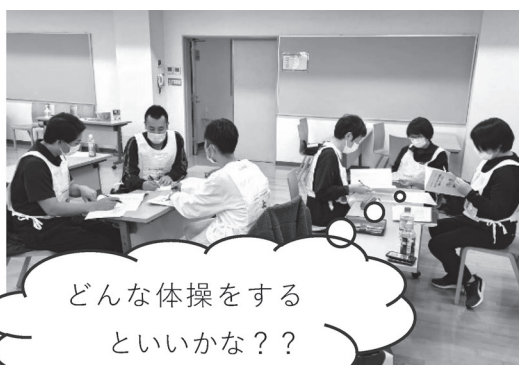
＼講義：集団理学療法の意義／



＼模擬体操教室での体験実演／



＼体操教室の打ち合わせ／



どんな体操をする
といいかな??

＼集団での評価や体操／



集団で行うから
わかる評価も!

【参加者からの感想 ～珠洲市総合病院 三上 琢也～】



今回の研修で集団理学療法を学び、地域に根差す理学療法士となるために、知識・技術の研鑽はもとより、自分自身の価値観を拡げていく必要性を強く感じました。研修では理学療法士は「アート」と「サイエンス」に基づき集団に対して理学療法を提供しなければならないと言われており、参加者同士の関わり合いの中で育まれる自己理解や相互作用によって、感情的な繋がりが心を前向きにしてくれることを学びました。主に病院での個別リハビリテーションに従事してきた私には、リハビリテーションの在り方を今一度考える、大変有意義な研修となりました。

第39回東海北陸理学療法学術大会のご案内（第6報）

第39回東海北陸理学療法学術大会
広報渉外局 局長 丸居 夕利佳



令和5年9月30日、10月1日に開催されました、第39回東海北陸理学療法学術大会が無事閉会いたしました！県内外からたくさんの方々に参加していただき大変盛大な学術大会となりました。今回は、学術大会の様子をご報告いたします。

<第39回東海北陸理学療法学術大会を終えて>

第39回東海北陸理学療法学術大会大会長 野口 雅弘（金城大学）



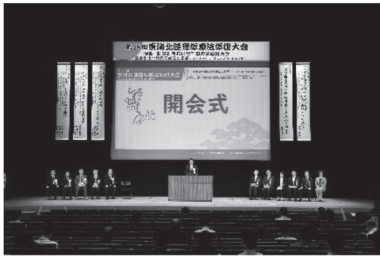
令和5年9月30日、10月1日に石川県小松市で開催された第39回東海北陸理学療法学術大会は、多くの皆様のご支援のおかげで盛況のうちに閉会いたしました。本大会の参加者は、対面705名、オンデマンド配信1,757名、非会員101名、計2,563名（その他、公開講座・キッズフェアに一般参加者が200名以上参加）で、非常に多くの方にご参加いただきました。参加された皆様、本当にありがとうございました。また、今回の開催にあたりご尽力いただきました準備委員、運営スタッフ、関係者各位に感謝申し上げますとともに、後援や協賛いただきました行政、企業や各種団体の皆様にも深く感謝いたします。

今回の開催にあたりましては、まず大会のホスピタリティの高さに驚きと感謝の声が多く寄せられました。これは準備委員と運営スタッフの素晴らしい仕事の結果です。また、今回「公衆衛生学的理学療法の発展～ジェネラリスト育成と専門分科の深化～」というテーマの下、多くのプログラムを企画しました。県学会企画では理学療法啓発事業としてキッズフェアも実施しました。子ども連れでも気兼ねなく参加できる大会にしたいという漠然とした思いから作り上げた子ども向けの企画が、多くの方から賞賛を受けました。準備委員の各人が、大会を良くするにはどうしたら良いかを本当に突き詰めて考えた結果だと思えます。

また、今大会では大会長である私自身40代半ばということもあり、経験豊富な諸先輩方のサポートを受けながら、準備委員は30代後半から40代の県士会理事を中心に組織し、主要な運営委員や講演の司会などにも若手の方に積極的に担当していただきました。これからの5年、10年という長期的な視野でこれからの石川県理学療法士会を担う人材に多く参加していただくことを目指しました。日常の業務でご多忙な中、このような学会にスタッフとして参加するのは本当に大変なことと思います。しかしながら、変遷していく社会の中で石川県理学療法士会にも若い力が今後益々必要になると思います。今回の経験が参加した会員の皆様の糧になると信じております。

最後になりますが、まだまだ若輩者の私が大会長を務めることができたのは、多くの会員の皆様の大きなサポートのおかげです。このたびは本当にありがとうございました。

大会の様子をお届けします！ご参加いただきありがとうございました！



開会式



表彰式



特別講演



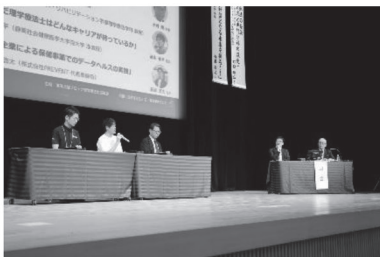
大会長基調講演



オープニングセミナー



モーニングセミナー



シンポジウム I



教育講演①【神経】



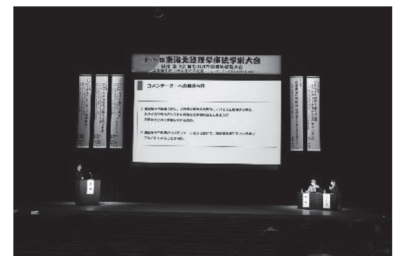
ランチョンセミナーIII



一般口述発表



ポスター発表



セレクション発表



連盟共催セミナー



公開講座



特別ワークショップ



キッズフェア



キッズフェア

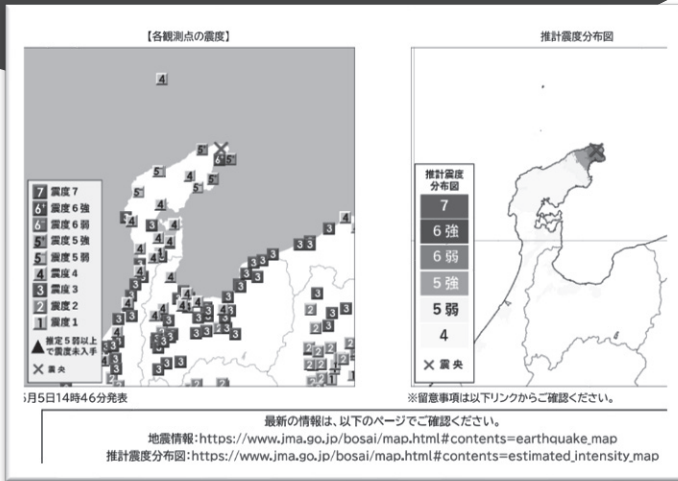


次大会長挨拶

奥能登大震災 被災地で活躍する理学療法士の現状 @珠洲市

突然ですが、本年、石川県で大地震が発生したことを、会員各位は覚えていらっしゃるでしょうか？

令和5年5月5日14時42分頃に、石川県能登地方でマグニチュード(M)6.5の地震が発生。珠洲市で最大震度6強を観測しました。また前年、令和4年6月19日にも能登半島の北東部でマグニチュード5.4の地震が発生しています(情報源地震調査研究推進本部事務局)。臨床現場で理学療法士が、どのような心境で理学療法を提供し、どのように働いているのか。今回被災地である珠洲市に赴き、現地で被災された 寅ヶ口 隆氏、畠田 弘教氏 の生の声を伺ったのでご紹介させていただきます。



震度の分布図



市役所での窓口

令和5年9月27日時点

自宅が被災！ 被災者として 理学療法士として

～ 寅ヶ口 隆氏 ～
特養 勤務

第二長寿園：
鳳珠郡能登町
字布浦ノ字



一被災した際の
状況を教えてください

寅ヶ口 ◆施設内で勤務している際に立ってられない程の揺れを感じました。入浴に携わる業務を行っており、全員を避難後、安否確認を行い、その後定時勤務後に自宅に戻りました。

一ご自宅の状況がどのようであったか
よろしければ教えてください。

寅ヶ口 ◆安否確認を行い、利用者の安全を確保したのちに、連絡する時間

を確保してもらいました。自宅に電話をして大丈夫かどうかを確認しました。うちの中はがちゃがちゃだけど、同居家族の生命は大丈夫だと確認できたので、勤務時間まで利用者に対する業務を行いました。



その後、水が出ないとの連絡を受け、食料(弁当)や水分などの生活必需品を帰路で購入して帰りました。私の職場は隣の能登町松波で、珠洲まで30分ほど。18時過ぎには家に帰りました。その後、片づけ始めたのですが、20

時半頃に余震でせっかく片づけた所が「御破算」になったって感じで心が折れました。

一被災後どのような変化があったか教えてください。

寅ヶ口 ◆昨年から私が住んでいる地区では仮設住宅が多くなって、仮設でもバリアフリーに対応していて、入口から車いすが入れるんだなって感心しながらいました。

それはそれですごいのですが、正院地区は1年前(令和4年)に受けた地震から群発地震がずっと続いていて、それがまた今回起こったことで、途切れない不安がとても強いです。というのも、去年の地震でやっと直して頑張っていたところを、また壊されるっていう不安がありません。なので、もう次回壊されたら同じ場所に新築しようって気にはならないかもし

左：市立図書館

下：災害の爪痕かと思われる一幕
入口路面に亀裂が入っている



れませんね。ですので、個人的な見解ですが新たに正院に住みたいって人はいないだと思います。いわゆる高齢化ですかね。

—勤務先ではどのような変化がありましたか？

寅ヶ口 ◆被災後、働いている最中に職場に協会（石川県理学療法士会事務局）から電話があったのは、とっても心強かったです。「何か困ったことがあれば、何でも言ってください。」と言ってもらえて、サポートしてもらえるんだなって安心につながりました。

職場では災害が起こった時の計画立案に関わりました。現状での問題点を抽出するための課題などを出し合いました。

～**富田 弘教 氏**～
老健 勤務



美笑園：珠洲市三崎町小泊

—被災した際の状況を教えてくださいか？

富田 ◆私は休みの日に家族と過ごしていた被災しました。子どもと外で遊んで帰って家にいるときに被災しました。外にいたのですが、気づくと平垣や家財がバタバタと倒れていました。通信は大丈夫だったので、他の家族と連絡を取るのは出来ました。家族が帰ってくるまでは子どもと過ごしました。

自分は、施設の防災担当を担っている為、家族が帰宅したあと職場に向かいました。そして参集要件が定まっていたので、他職員を参集しました。施設に到着したのは16時頃です。

到着した際には利用者の安否確認は完了していました。その後、施設内の点検などを行い、通所利用されていた利用者様を送迎していきました。自宅損壊があるかわからない場合もあり、送迎時には自宅の安全を確認しながら、一人ひとり送迎していきました。

—避難所としての開設などは？

富田 ◆当施設（美笑園）は珠洲市の避難所指定を受けていました。避難所の開設要請が来るかもしれないと考え、準備はしていましたが、要請はなく開

設にはいたりませんでした。地区の公民館が避難所となっていました。



—勤務先ではどのような変化がありましたか？

富田 ◆施設内で損壊があったのはボイラー室で配管が破損し、入浴が困難になりました。シャワーは行える状態のことだったので、通所利用も稼働しました。

話は少し変わるかもしれませんが、地震があった時期というのはちょうどコロナウイルス対策が変更する直前（国のコロナウイルス対策は5/8に解除）でした。

5/8以降に面会対応は制限を解除する予定だったのですが、被災したこともあり、面会制限を解除するかしないかの判断に影響したことを鮮明に覚えていません。災害対応と同時に感染対応を変更することの難しさを経験しました。



—勤務における直接的な影響はありましたか？

富田 ◆ サービス提供する側の職員においては、幸い休職するような状況の方はいなかったと思います。

ですが、通所利用の方で独居の方が多く、家の中が片付かず、休まれる方が多くなっていったと思います。中には通所に来れなくなる利用者もおられました。また、利用者でご自宅に住めない状態になり、入所された方が1か月の間に4名ほどいました。自宅に危険判定がされ、やむなく入所するという選択をされたようです。

—勤務以外でなにか災害支援に携われたのですか？

富田 ◆ 地域住民として珠洲市社会福祉協議会の一般ボランティアに参加しました。3ヵ月間の間に4-5回参加しました。



支援内容は被災ごみ整理や片付けのための資材がどれくらい必要かを確認していくという内容の作業でした。複数名で何軒かをまわり、どのような支援が必要かを整理するという内容だったと記憶しています。

—おわりに

これまでの20年間で石川県において地震は多発しています。特に能登地方で多いです。地震以外の自然災害も近年多発しています（水害、大雪、大雨）。

今回珠洲市に赴き、現地で被災した石川県理学療法士会員諸氏の生の声を他にも数名伺いました。私は大きな衝撃を受けたが、皆さんはどのように感じただでしょうか？

取材中には市の災害支援に携わった理学療法士がいらっしゃったとも伺えました。地域の医療従事者として災害支援として携わったという事でした。

記事を書く中で「自分は何ができるのか？」と仕事でふと考えている自分がいることに気付いたりしました。この記事を読まれた会員諸氏の中で自分事として何ができるのかを

考えながら業務にあたっている先生も多くいらっしゃるかと思います。

今一度、会員各位の地域で災害が発生したときに、地域住民として何ができるのか、理学療法士として何ができるのか、合わせて理学療法を提供する際の意味を考えるきっかけとなつていただければと思いながら、終わりとさせていただきます。

末筆ながら、今回取材に快く応じていただきました理学療法士の先生方に深く感謝いたします。今後も引き続きのご活躍を祈念いたします。

（取材地：珠洲市 取材：中川）



Active

「石川県理学療法士会 2023 理学療法週間事業に参加して」

城北病院 山村 健人

この度、令和5年10月1日にサイエンスヒルズこまつにて第39回東海北陸理学療法学会と併設して行われた県士会による理学療法週間事業に参加させて頂きました。タイトルが「理学療法キッズフェア～すこやかな体づくりのために～」ということで私は足裏健康チェックというブースを担当し、主にお子様の足長の計測やフットプリントをとらせていただきました。



当日はたくさんのお子様に参加していただき、100枚用意していたプリント用紙もほとんど無くなるほど盛況でした。計測した結果はウィズの表を用いて今履いている靴が正しいサイズなのかを本人やご家族に説明しました。

私自身これまでコロナ禍などの影響もあり、県士会の事業に参加する機会がなく今回が初めてでした。たくさんのお子様と関わった上で、成長期である子どもの足の状態を確認することや、靴の選び方などどれも参考になることばかりでした。

普段は回復期で高齢の入院患者に理学療法を行っていますが、今回のような病院外での活動におきましても、学びや発見があることを今回感じられました。今後もこのようなイベントがあれば、積極的に参加したいと思います。

「福祉のつどい金沢 2023」の運営協力に参加して

金沢西病院 岡田 帆香

令和5年9月3日に金沢市松ヶ枝福祉館、松ヶ枝緑地にて開催されました「福祉のつどい金沢 2023」への運営協力に地区活性局石川中央ブロック部の活動として参加しました。



「福祉のつどい金沢」は金沢市内に拠点があるNPO法人、ボランティアグループ、福祉施設利用者や職員が一同に集い、楽器演奏・ダンスなどを披露するコンサートや模擬店、ゲームコーナー、福祉ショップ、福祉体験、作品展などの企画が開催されるイベントです。活動内容は来場された方に対して血圧測定やフレイルチェックを実施し、51名の方々が来て下さりました。中にはご自身の健康だけではなく、家族のことも考えられている方もおられ関心の高さに驚きました。

今回の活動に参加し、健康維持のために地域・市民の方々に理学療法士として何ができるか考えるきっかけになりました。

第44回健康づくりフェアの運営協力に参加して

金沢西病院 齊藤 詩乃

令和5年9月23日、24日に金沢健康プラザ大手町にて開催されました「第44回健康づくりフェア」への運営協力に地区活性局石川中央ブロック部の活動として参加しました。

「健康づくりフェア」は金沢・健康を守る市民の会が主催となり健康意識の啓発と実践活動を広く市民に広め、住みよい環境、明るく健康な市民生活の実現を目指し、市民の健康意欲高揚を図ることを目的に毎年開催されています。活動内容は来場された方々に対して血圧測定や握力、下腿周径の測定、片脚立ち上がりテストなどのフレイルチェックを実施し、両日合わせて96名の方々が来て頂きました。

今回初めてこちらの活動に参加させていただき、若い方から高齢の方まで自身の健康に対する意識の高さを身をもって実感することができました。フレイルチェックの評価項目の中ではできると思っていたものが案外できなかつたといった今後の課題を見つけられる方もおられました。また今後もこのような市民の方々に対する健康イベントがあれば参加してみたいと思います。



第39回東海北陸理学療法学会に参加して

金沢赤十字病院 相馬 夏月

令和5年9月30日～10月1日に小松市にて開催された第39回東海北陸理学療法学会に参加させていただきました。私は「変形性膝関節症患者に対する人工膝関節全置換術後6ヵ月、術後12ヵ月における運動機能、疼痛およびQOLの改善とその関連」についてポスター発表をさせていただきました。本大会のポスター発表はフリーディスカッション形式であり、座長の先生をはじめ多くの先生方と活発な意見交換が可能でした。私は口述発表の経験はありましたが、このような発表形式は初めての経験であり、今後の研究活動や臨床現場に活かすことのできる建設的な議論をすることができました。

また、本大会は東海北陸ブロックで活動される先生方が、石川県にて一堂に会する場となりました。普段は関わることのできない先生方との交流が可能であり、人脈を広げる貴重な機会となりました。

COVID-19の流行以降、学会大会や研修会はオンライン開催が主流となり、参加者同士の個人間のつながりは持ちにくくなってしまったように感じます。その点、本大会のような対面開催は同職種の先生方とつながりを作れることも魅力の1つだと思います。

最後になりますが、大会長である野口先生をはじめ本大会の企画・運営に携わった役員・スタッフの皆様に感謝申し上げます。



第 38 回東海北陸理学療法学会の大会長賞を受賞して

有川整形外科医院 坂下 竜之助

この度、第 38 回東海北陸理学療法学会の大会長賞を受賞しました。演題は、「右母指小指対立運動時の右母指 CM 関節掌側部痛に対して正中神経掌枝の母指球筋枝にエコーガイド下注射と理学療法を行った一症例」になります。

私は上肢に興味があり、臨床で多くの上肢疾患を診る経験をさせていただきました。その中でも、病態の把握や運動療法に最近の知見を含めて経験したことを発表させていただきました。当院の強みである医師との連携や運動器超音波検査装置を取り入れた内容にもなりました。日々の臨床が、学会大会で認められたことと思いととても光栄に思い、感謝申し上げます。

今回の発表を通して、機能解剖について、運動療法の工夫など課題もありました。今後も臨床経験を積み重ねて、精進していきたいと思えます。



令和 5 年度 石川県理学療法・作業療法臨床実習指導者講習会に参加して

石川県済生会金沢病院 島田 美彩希

私は、この度令和 5 年 9 月 9・10 日にオンラインで開催された臨床実習指導者講習会に参加させて頂きました。

講習会は Zoom と Google スライドを活用して講義とグループディスカッションが行われました。内容は臨床指導の基礎から実例を使用した応用的な物まで幅広い内容となっていました。私は臨床経験が 5 年目とこの講習会に参加する対象としては経験年数が浅く、指導者としての経験もなかったため、とても緊張しました。

グループディスカッションは様々なテーマで行われましたが、経験豊富な先生方のご意見を聞くことができ、指導の工夫や対応方法など大変勉強になりました。また、病院だけでなく介護保険領域で勤務しておられる先生方の意見も聞くことができたのも貴重であり、自分にはあまりない視点からの見方も知ることができました。

これからは私も実際に学生を指導できる立場になりますが、今回の経験を生かし、理学療法士としてのやりがいを後輩へ伝えていけるようになっていきたいと思えます。



賛助会員名簿

【2023年10月31日現在】

－ A 会員 －

施設名	郵便番号	住所	TEL
金城大学	924-8511	白山市笠間町 1200	076-276-4400
社会医療法人財団董仙会 恵寿総合病院	926-8605	七尾市富岡町 94	0767-52-3211
北陸大学	920-1180	金沢市太陽が丘 1-1	076-229-1161

－ B 会員 －

専門学校 金沢リハビリテーションアカデミー	921-8032	金沢市清川町 2-10	076-280-8151
国際医療福祉専門学校七尾校	926-0816	七尾市藤橋町西部 1	0767-54-0177
医療法人社団橘会 整形外科米澤病院	920-0848	金沢市京町 1-30	076-252-3281
特定医療法人社団 勝木会	923-8551	小松市八幡イ 12-7	0761-47-1212

－ C 会員 －

医療法人社団慈豊会 久藤総合病院	922-0024	加賀市大聖寺永町イ 17	0761-73-3312
医療法人社団浅ノ川 浅ノ川総合病院	920-8621	金沢市小坂町中 83	076-252-2101
医療法人社団 有川整形外科医院	924-0882	白山市ハツ矢町 232-2	076-275-7500
石川県リハビリテーションセンター	920-0353	金沢市赤土町ニ 13-1	076-266-2860
社会福祉法人 恩賜財団 済生会 石川県済生会 金沢病院	920-0353	金沢市赤土町ニ 13-6	076-266-1060
医療法人社団 映寿会 映寿会 みらい病院	920-8201	金沢市鞍月東 1-9	076-237-8000
金沢医科大学病院	920-0293	河北郡内灘町大学 1-1	076-286-3511
公益社団法人石川勤労者医療協会 城北病院	920-8616	金沢市京町 20-3	076-251-6111
日本赤十字社 金沢赤十字病院	921-8162	金沢市三馬 2-251	076-242-8131
医療法人社団博友会 金沢西病院	920-0025	金沢市駅西本町 6-15-41	076-233-1811

- C会員 (続き) -

施設名	郵便番号	住所	TEL
医療法人社団 浅ノ川 金沢脳神経外科病院	921-8841	野々市市郷町 262-2	076-246-5600
独立行政法人地域医療機能推進機構 金沢病院	920-8610	金沢市沖町ハ15	076-252-2200
医療法人社団 下崎整形外科医院	924-0802	白山市専福寺町 158-3	076-274-5000
市立 輪島病院	928-8585	輪島市山岸町は1番1地	0768-22-2222
珠洲市総合病院	927-1213	珠洲市野々江町ユ部 1-1	0768-82-1181
医療法人社団 竜山会 金沢古府記念病院	920-0362	金沢市古府 1-150	076-240-3555
医療法人社団 和楽仁 芳珠記念病院	923-1226	能美市緑が丘 11-71	0761-51-5551
医療法人社団 瑞穂会 みずほ病院	929-0346	河北郡津幡町字湯端 422-1	076-255-3008
医療法人社団 さくら会 森田病院	923-8507	小松市園町ホ 99-1	0761-21-1555
医療法人社団 安田内科病院	921-8047	金沢市大豆田本町ハ 62 番地	076-291-2911
社会福祉法人 徳充会 青山彩光苑	926-0831	七尾市青山町ろ部 22 番地	0767-57-3309
株式会社 金沢義肢製作所	920-0935	金沢市石引 1-11-6	076-231-3328
株式会社 濟世館	920-0944	金沢市三口新町 2-2-25	076-231-7284
有限会社 丸山義肢製作所	920-1167	金沢市もりの里 2-32	076-222-1068
セントラルメディカル株式会社	920-0024	金沢市西念 3-1-5	076-262-1111
株式会社 トミキライフケア	920-0061	金沢市問屋町 2-74	076-237-0708
石川県理学療法士連盟	920-8204	金沢市戸水 1-25	076-254-1431
株式会社 大塚製薬工場	920-0016	金沢市諸江町中丁 160-1-3F	(090) 5718-6833

マイページの内容に 変更ございませんか？

本会では会員の皆さまのマイページ登録情報（発行日の前々月末時点）をもとに士会郵送物の発送を行っております。

ご所属先やご住所等に変更ございましたら、出来るだけ速やかに会員各自でマイページに登録されている情報の修正をお願いします。

登録されている情報の修正は、日本理学療法士協会ホームページ内の【マイページ】にログインすることにより可能です。

お手数をおかけしますが、何卒ご協力をお願いいたします。

問い合わせ先

公益社団法人石川県理学療法士会事務局

〒920-8204 石川県金沢市戸水1丁目25

TEL: 076 - 254 - 1431

FAX: 076 - 254 - 1432

E-mail: info@ishikawa-pt.com

求人広告についての おしらせ

－広告料金－

1 / 8 ページ 5,000 円

1 / 4 ページ 10,000 円

1 / 2 ページ 20,000 円

求人広告については、下記へお問い合わせ下さい。

〒924-8511 石川県白山市笠間町 1200

金城大学 医療健康学部 理学療法学科

山本 拓哉

TEL: 076 - 276 - 4400

FAX: 076 - 275 - 4316

E-mail: yamamoto@kinjo.ac.jp

－自由投稿募集－

県士会ニュースでは、みなさんの投稿による自由投稿枠を設けています。内容は問いません。意見、質問、表紙に相応しい写真などなんでも OK です。

投稿希望の方は下記まで、まずご連絡ください。

投稿メ切は5・8・11・2の各月の1日となっております。沢山の投稿をお待ちしております。

〒924-8511 石川県白山市笠間町 1200

TEL: 076-276-4400 FAX: 076-275-4316 E-mail: yokota@kinjo.ac.jp

金城大学 医療健康学部 理学療法学科 横田 文子

❀❀ 編集後記 ❀❀

寒い日が続きますが、皆様はどのようにお過ごしでしょうか。今年も残りわずかとなり寂しい気持ちもありますが、来年も皆様に読んでいただけるようニュース編集に尽力していきたいと思っております。

発行：公益社団法人 石川県理学療法士会 編集：事務局メディアネットワーク部

山本 拓哉 石田 勝也 岩佐 和明 岩田 翔平 神谷 晃央 澤田 康平
茶谷 恒太 坂下竜之助 横田 文子 北山 彩香 北川由美子 中川 允



石川県理学療法士会公式LINE

